

平成25年度「岩倉市議会ふれあいトーク～市民と議会の懇談会～」記録書 その1

開催日時:平成25年7月6日(土)13:30～15:30

場 所:くすのきの家

出席議員:全員(14名)

全体会

テーマ:デマンド交通について

参加者:21人

配布資料:デマンド型乗合タクシー実証運行の予定

司会(宮川議員)

- (1)議長あいさつ(伊藤議員)
- (2)議員自己紹介(各議員)
- (3)デマンド交通についての説明(松浦議員)
- (4)質疑応答及び意見

問)実際に運行する業者はどこか。

答)小牧市のあおい交通に決定している。

意見)小牧市民だが2回目の参加をさせてもらった。行政としての説明会はまだこれからとのことだが、議会が行政の代わりに報告をしてるようで少し違和感があった。小牧市のコミュニティバスとの違いとして、小牧市では市外の人でも乗ることができるし、利用者の運賃は市の収入になる。

問)市民への説明会はどのように行うのか。

答)南部老人憩の家や多世代交流センター、保健センター、子育て支援センターなど行う。また、区長から要請があれば、その区でも行う。

問)地域公共交通会議とはどのようなものか。市内のみの運行、料金など中途半端な内容ではないか。市の負担はどれくらいか。将来に向けて継続していく根拠はあるのか。市民の声はどのように反映されるのか。

答)地域公共交通会議は実証運行の許可を得るためのものである。1日40人の利用、1時間に2運行で計画している。市の年間予算は約2千万円である。実証運行の中で市民の声を聞き、半年後に見直しをする。その中で、できるだけ市民の声を反映していく。

問)市民の意見はどこに届けるのか。

答)行政にでも、議会にでも、どちらでも構わないので、届けてほしい。行政ではタウンミーティングというものもやっている。

意見)高齢化がすすむ中で、市の負担はどんどん増えていくものと考えている。これは必要な経費と思う。できるだけ市民の要望に応える形ですすめてほしい。チェックしてメンテナンスしていく機関をきちんと設けるべきである。市民の足としてきちんとすすめてほしい。どうも中途半端な内容に思えてならない。

問)スーパーマーケットや医療機関から協賛金をもらってはどうか。料金ももう少し安くしてほしい。

答)そういうことも踏まえて、特別委員会で検討していく。

問)どの辺りの地域からどこへ行きたいという要望が多いのか。1人でも運行してもらえるのか。行き

先は何箇所くらい指定できるのか。

答) アンケートでは、北島町、野寄町、大山寺町などから商業施設へ行きたいという要望が多かった。1人でも運行する。行き先が同じ方向なら乗合という形になる。

意見) 市民の中には千秋病院へ行く人が多いが、西市で降ろされてしまうことになる。それが市民のためになるのか。もっと市民の意見を聞いてから実証運行に入るべきではなかったのか。

問) 85歳以上のふれあいタクシーチケットはどうなるのか。

答) 今まで通り実施される。

意見) 医療機関へ行く場合は、帰りの予約も取らなければならない。待ち時間などの関係で、なかなか予約時間を決めづらい。

問) デマンド交通についての行政視察は行ったのか。

答) 会派として行っている。

問) 今回のテーマとこの懇談会の開催場所が合っていない。もっと交通不便地域で行うべきではないか。開催の周知期間も短すぎる。どういう考えなのか。

答) この懇談会は各地域でやっというと考えており、たまたま今回はくすのきの家になった。また、地域公共交通会議の許可を受けての開催で周知が遅れてしまった。

問) 自治基本条例で「市民に情報提供を」と言いながら、要望があれば説明会を行うというのは、消極的ではないか。

答) 高齢化率が高い中本町、泉町、井上町、野寄町、川井町、曾野町、南新町、東新町でも実施する。

意見) 現在、NPO法人で有償運送サービスを行っている。その前は外出支援サービス、その前は自家用車によるボランティアで外出困難な市民の足を確保してきた。15年間やってきた。しかし、足の不自由な市民は3千人おり、100人登録のNPO法人だけでは限界である。千秋病院まで以前は100円だったが現在は1,200円で、登録を外れた人もいる。絶対に成功させてほしい。成功のために応援もしたい。

問) あおい交通の運転手をお願いしたが、車いすの人が乗降するときに手を貸してほしい。

答) 車いすの人はデマンド交通の対象になっていない。

意見) 極めて中途半端だという印象を持つ。市外の医療機関へ行く場合の不便さは、利用するにあたっての決定的な問題である。利用が増えなければ、2千万円の投資が無駄になる。高齢者や障がい者の立場に立って検討されたのか。車いすの人が利用できないというのも大変な問題である。対象については困難な人から設定すべきではなかったか。

意見) 実証運行の期間までに勉強して、細かい要望を出していきたい。

問) 行政の担当は何課になるのか。

答) 企画財政課が担当する。

意見) あくまでも困難な市民ためのものであるべき。既存の公共交通のためにやるのではない。

第1分科会（総務・産業建設常任委員会）

テーマ：「防災対策と住宅リフォームについて」

参加者：7人

(1) テーマについて趣旨等の説明（黒川総務・産業建設常任委員長）

テーマの趣旨説明及び平成25年度予算のうち「防災対策と住宅リフォーム」に関連する3つの事業の概要説明

(2) 意見交換

① 防災行政無線（同報系）整備事業について

市民）防災行政無線の整備について、基地局はどこに置くのか。

議員）庁舎6階の行政課に親局を置く。

市民）緊急時に市役所に職員が集まってからとなると、対応が遅くなる。消防署なら日常的に慣れており、常駐している消防署に置く方がいいのではないかな。

議員）通常、消防署が行う人命救助とか火災とかは指示がなくても行動するが、総合的に市全体の中で、どこで何が必要か、人員をどう割り振るのかなど市役所の災害対策本部で総合的に考えることとなるから、市役所に親局を置くものである。

市民）日常的に防災関係にたけており、連絡網がしっかりしている消防署に対策本部を置いた方がより効率的にできるのではないかな。

議員）災害のときは総合的に動かないといけない。火を消すとか水防程度であれば消防署の対応でいいが、大震災が起こった場合となると、水道や市民の窓口など総合的に動かないといけないので、消防署に対策本部があると、市役所に連絡を取らないといけないような事態となる。

議員）市役所の駐車場は災害対策のためのセンター的な役割を持つし、バスの車庫はボランティアの集合場所になる。総合的な災害対策本部は市役所に置かれる。

市民）総合的な対応という観点から、非常時のシステムを作り上げている。場所とは別の話だが、縦割りの一番嫌なところは、非常時に悪い影響を及ぼすことがあるので、しっかり議論してやってもらいたい。建設部などとも一緒に行くわけだから、チームワークが大事である。場所よりそこのところが大事と思う。

議員）尾張部では、消防指令の指揮系統の共同運用が小牧市に置かれることになるので、大災害が起きたとき、本当に機能するのか、不安はある。

② 防災意識及び自主防災会について

市民）五条川の水害は昔からあるが、防災に対する意識は低いと思う。南海トラフ巨大地震など大規模地震を考えると、行政はもとより我々が考えなくてはいけない。意識付けが必要と思う。

議員）行政からは言いにくい部分がある。災害発生後、2時間以内に職員が駆け付けたのは4%という事例がある。その間に火災が発生すると、自分たちの命は自分たちで守らないといけない。行政は当てにならないのが事実である。

市民）自主防災会は区長がキャップになっている。この際、各地区に防災委員を置いて、その人を副区長格にし、その人が中心となって防災対策を行ってはどうかな。

議員）担当者が一年ごとに交代することで継続性が欠けている。それを補完するシステム、継続的に複合的にやっていけるシステムが必要と思う。

市民）通常業務なら変わってもいいが、緊急時は経験がないだけに初動体制に失敗すると、とんでもないことになる。一人の人に5年間と決めてやってもらってはどうか。

議員）区の防災倉庫に救助工作用具があるが、使い方を知っている人は少ない。軽可搬ポンプも使いづらい。継続して3年から5年と任期制でやってもらうのが一番いいと

思う。

市民) 緊急時に避難所に入るにしても、鍵は区長や班長が持っている。防災対策は重要な仕事でありながら、片手間になっているのが現実である。南海トラフ巨大地震を契機に整備することはいいことだと思う。

市民) 民生委員は再任で来ているが、行政区の役員は一年交代、一年で防災対策の助言と指導ができるのか。再任ができるようなシステムを考えないと、よくなるはずがない。

議員) 地域自治はその区の方針であって、その中で任期の年数を決めていただくことと思う。こういうことをやってますよと、行政は情報を流せても、強制はできない。

③人材育成（防災関連）について

市民) 防災対策の一環として、高齢者のいるところではこういうことを地域でやってほしいと、職員の経験から指導してはどうか。

議員) 東京都の消防庁は自主防災会や消防団があるにもかかわらず、消防の手助けをする防災ボランティアを立ち上げた。これは、神戸の大震災では消防が全部出払って、何も手が付けられなかったという経験から組織されたものである。

市民) 防災管理者という専門職とか、より常設に近い団体やグループを作り、明確に位置づけて、何かあったときは、その人たちが動きやすい体制を作ってはどうか。

議員) 区にしても行政にしても、人が担うことなので、指導者、人材の育成が大切と思う。

市民) 行政のOBが区に関わってほしい。

市民) 職員に緊張感がない。岩倉は狭いので楽だし、天国である。江南市や小牧市など近隣の自治体と職員の人事交流をして勉強してほしい。

④IP電話について

市民) IP電話システムと防災システムは関連あるのか。

議員) IP電話とは基本的に切り離して考えている。

市民) IP電話はユビキタスで導入したもので、魂が入っていない。緊急用に児童館などに置いてはどうかと思う。今は区長宅に置いてあるが、あまり使われていないようだ。

議員) IP電話関連の予算は一昨年で終わっている。現存のものをどう長く使っていくのが課題である。

議員) インターネットが普及している中で、それを考えずに導入した。

議員) IP電話というシステムではなく、IP電話の中のシステムで、どうやって新規のものを作り上げていくのが国からの補助金の趣旨だったが、岩倉市で使い切るだけの能力がなかった。既存のIP電話で十分だったものを、新たにシステムごと構築することに無理があった。

⑤住宅リフォームについて

市民) 自宅の耐震改修工事を行い、60万円の補助金をもらい、2割位は助かった。南海トラフ巨大地震を考えると仕方がない。

市民) 年金生活者から見ると、非常に多額な費用となる。想定される南海トラフ巨大地震を考えると、耐震や免震の工事をしては駄目ではないかと考えてしまう。

議員) 実際、耐震のリフォーム工事は数百万円の金額となる。一部屋を耐震化できるシェルターなら概ね60万円の費用で、補助金を入れれば30万円位で耐震化できるのではないか。

市民) 資料によると一般住宅リフォーム補助で、申込件数 35 件、事業費 5 千万円余とあるが、耐震と抱き合わせてセットで行うことはいいことだと思う。

議員) 近隣の自治体ではほとんどが導入している。岩倉市では市が行っている政策に一枚かまして推進しようと導入したが、執行率は半分位であった。25 年度はハードルを下げようと考えた。

議員) 市内業者が少ないこともある。岩倉では下請け会社が多いのがネックである。

議員) 都市整備課に聞くと、25 年度は 6 月 24 日現在、申込件数 76 件、補助金額 4,451 千円とのことで、3 か月で昨年度並みの実績となっている。市民の評価を受けたのかなと思う。

市民) 耐震診断を受けたが、判定値が 1.0 以上にならないと補助が出ないと聞いた。どういうシステムか。

議員) 耐震診断を受けた方で、判定値が 1.0 に達していない家屋については、今までは 1.0 を超えるために多額な費用を要したが、本年 7 月 1 日から改善され、一段目で判定値が 0.7 から 1.0 未満までの耐震工事については最大 60 万円の補助、さらに二段目で判定値を 1.0 以上に上げれば、最大 30 万円の補助となる。従来、最大 90 万円の補助が一括だったものが、利用しやすい形に改善された。

(3) まとめ (黒川総務・産業建設常任委員長)

限られた時間の中で、濃密な議論ができたのではないかと思う。人材育成をどうしていくのかという区にも行政にも共通する課題は調査研究を行い、政策提案、提言をできるようにさらに努力を重ねていきたい。本日は、長時間にわたり、ご出席をいただき、ありがとうございました。

第2分科会(厚生・文教常任委員会)

テーマ:「子育て・健康」

参加者:3人

(1)委員(7人)の紹介

(2)認定こども園整備事業、予防接種事業、新学校給食センター建設事業について説明(相原議員)

(3)質疑応答及び意見

*参加者が少人数のため質疑は特になく、参加された唯一の市民から不妊治療についての自らの貴重な経験を話してもらった。

「不妊治療を経験して第一子を授かった。春日井市の医療機関で、その治療方針と考えが合わなければ治療を受けてくれなくても結構というところで、その強い信念を信頼してお願いした。公費助成は、5万円と高度治療を受けた場合のプラスアルファである。一部の人に税金を使うのは不公平かもしれないけど、もう少し助成額が多ければと思う。手続きは簡単であった。第二子は自然妊娠だったが、27週で破水し早産となった。865グラムの超低体重時出生のため新生児集中治療室に入った。21日後に死んでしまった。不妊で悩んでいる人がいれば助けてほしいというのが私の願いである。幼児虐待や赤ちゃんポスト、羊水チェックによる中絶など、私は考えられない。」

*参加された小牧市議会議員からも、議会報告会への参加者が減っているという嘆きの声も出された。

(4)閉会あいさつ(井上議員)